

市民からのお便り 「なんこく歴史散歩」は、とても興味深く、毎回楽しみになっています。

父の仕事の関係で生まれは東京ですが、南国市には昔からの家や田んぼがあるので、子どものころからよく帰ってきていました。物部川で遊んで育ちましたよ。ふるさととは？と聞かれたら南国市と答えますね。

趣味は全国のお城めぐりです。47都道府県全て、お城目当てに行ったことがあります。100以上のお城を見て回りましたが、高知城はここにしかないという見どころが満載で素晴らしいです。岡豊城跡も歴史民俗資料館などがあってお勧めですよ。皆さんも、ぜひ、行ってみてください。

高知城の見どころを熱く語ってくれた池川さん。知らないことばかりで大変勉強になりました。

お城めぐり



いけがわ じみい
池川 滋彌さん（田村乙）

にこにこライフ 164

安心でおいしい野菜を



いのうえ みきお
井上 幹夫さん（稲生）

野菜は嫌いでしたが、自分や家族の病気をきっかけに食の大切さに気づき、安心して食べられるおいしい野菜を作りたいと無農薬・有機栽培で農業を始めた。今は、同じ思いを持つ仲間といっしょに野菜を育てています。

収益安定のため加工品の開発を考え、高知大学農学部で農産物加工の勉強をしました。睡眠時間を削って勉強しましたよ。定期的に開かれる交流会には今でも参加し意見交換しています。人脈ができたことも財産になりました。

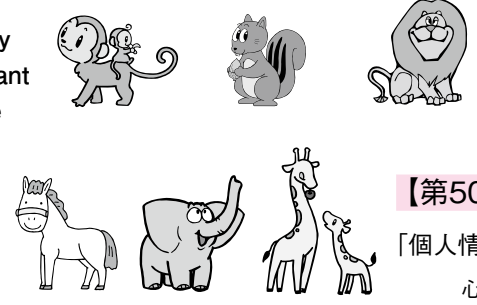
加工品第1弾はオクラのパウダー。県内外の企業へ売り出し中です。

加工品第2弾、第3弾も計画と井上さん。南国市を代表する特産品ができるよう応援しています。

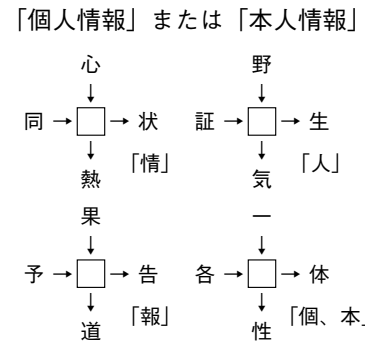
親子クイズ 502

Q □にアルファベット1文字を入れて動物名の英単語を作り、□に入った文字を順番に並べてきた英単語を答えてください。

- (1) □ quirel
- (2) monk □ y
- (3) e □ ephant
- (4) giraf □ e
- (5) l □ on
- (6) hors □



【第501回解答】



【第501回当選者】

山崎 智布（植野）
岡田 悦子（日吉町）
高島 光生（田村甲）
濱田 京子（前浜）
町田 佳世（緑ヶ丘）

■応募締切／3月14日(金)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大堀甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係

*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／90通 ★正解率／87%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

なんこく歴史散歩 第16回

土佐の中心地として栄えた南国市内には、国衙や国分寺以外にも多くの古代の遺跡が見つかっています。今回は、その中で代表的な遺跡をご紹介します。

野中廃寺跡

JR後免駅から400mほど西の線路沿いにある遺跡です。現在は畑や水田などが広がるだけですが、この付近は「仁王」や「鐘撞堂」などと呼ばれ、寺院があったことが地名に残されています。線路の北側には、周囲より1mほど高く、約18m×10mの長方形の土壇があり、多くの古代瓦が出土しました。寺の中心に位置することから、本堂が置かれていたのではないかと推定されています。この場所を国分寺だとする説もありますが、確証はありません。



野中廃寺跡

南国市内の古代の遺跡



※お問い合わせは生涯学習課文化財係
(☎880・6569)まで



白猪田遺跡地鎮祭祀跡

白猪田遺跡

久礼田小学校の南東500mにある遺跡です。平成8年には場整備に伴って発掘調査をしたところ、8世紀に属する建物跡などが見つかりました。その建物に関連して、甕を埋納した地鎮祭祀の跡も見つかっています。

また、当時の一般的な集落では出土しない緑釉輪花皿、灰釉陶器も出土しており、領石川を挟んで約1kmの位置に土佐国衙跡があることから、国衙と結びついた「国府集落」ではないかと言われています。

ひろくふれあいつながりで 38 人権学習シリーズ

昨年、12月12日に発表された2013年の今年の漢字は、「輪」でした。東京五輪決定や東北楽天ゴールデンイーグルスの日本一などの「日本中が輪になって歓喜にわいた年」、台風や竜巻、集中豪雨による洪水などの自然災害に対して支援が広がったことなどの「人とのつながりの輪を感じた一年」、東北復興のための継続支援の必要性や景気回復への取り組みなどの「未来に向けたさらなる輪」などがその選考理由となったようです。

さて、今年も新しい希望を胸に南国市で約370名の中学生が思い出深い学びや卒業していきま。その一人一人が将来に大きな夢をもつての旅立ちだと思っているのですが、昨年12月に報道された「本県高校中退率全国1位」という新聞記事が目が止まりました。文部科学省が発表した2012年度の問題行動調査で、高知県内の高校中退率(*)は2.2%(全国平均1.5%)と全国で最も高い値でした。中退理由としては、「もともと高校生活に熱意がない」が17.9%で最も多く、次いで「別の高校への入学を希望」が10.9%、「就職を希望」が8.8%などとなっています。2010年度の中退率は1.7%でしたが、2011年度、2012年度と、2年続けて2.2%になっています。

「支援の輪」

現在、高知県では、ニートや引きこもりを予防するための「若者の学びなおしと自立支援事業」を展開し、中学校卒業時及び高校中退時の進路未決定者に対して就学や就労に向けた支援を行っています。また、南国市も含め県内6カ所に若者サポートステーションが設置されています。

平成22年度国勢調査では、高知県内には15歳から39歳で約2700人近い若年無業者がいるとの統計が出ており、このことは社会全体が抱える将来への課題であると言えます。早期にサポートステーションなどと連携し、さまざまな支援を講じて新しい進路を開拓していく取り組みが必要ではないでしょうか。

中退を次へのステップととらえ、とにかくくじけることなく、さまざまな支援や人とのつながりの輪の中で、新しい希望に向かって歩んでもらいたいと思います。

*全生徒に占める中退者の割合

※お問い合わせは
人権啓発広報委員会
(☎880・6569)まで